

第2回ジェンダーギャップ解消戦略会議（2020/11/19）

「ジェンダー平等の重要性」メモ

（目黒依子）

1. ジェンダー平等の意味

* ジェンダー（社会的・文化的性別/性役割）を理解するキーワード

①役割： 性別分業（人類史上最も古い分業）

役割の価値付け—人口増、生産様式の変化と共に分業は複雑化・多様化
価値付けによるパワー関係 [経済資源の所有による意思決定権が基本]

②地位： 上下関係＝パワー関係

* ジェンダーの歴史的文脈

・生産システムと家族システムの関係

狩猟・採集（移動）・・・小家族 出産機能による男女の分業

農耕（定住）・・・大家族 社会の中の階層化；家族の中の性別分業

産業化社会（移動）・・・小家族 男女の恋愛・親子の愛情；家族の養い手と
ケアの担い手（主婦の誕生）

・ジェンダー役割の序列化、世代継承、固定化と変化 ⇒ ジェンダー役割は可変

・家父長制家族も近代家族も男性中心主義

* ジェンダー平等とは：

・性的カテゴリーが社会的差別の基とならない

・個人の生物学的特性と社会的性役割が固定的に結びつかない

2. ジェンダー平等社会となる条件／を作る条件

① 女性のエンパワーメント

・女性が生き方の自己決定ができる力をつけること

② ジェンダー主流化

・制度・政策のあらゆる段階（目標、計画、実施、成果、評価）でジェンダー視点が確保されること

性別、年齢、階層等、どのようなグループのなかにもジェンダーギャップはみられます。だからこそ、ジェンダー平等の視点は多様性を串刺しする重要性をもっています。